

# 第4学年 学びのカテゴリー「動物」



4年1組は、飼育活動を行う中で、「動物達の幸せを考えた飼育活動」を大切にしてきた。普段の飼育活動や岐阜農林高校の生徒との交流を通して、動物の習性を知ったり、触れ合い方を学んだりしてきた。その営みの中で、動物達の幸せのために「遊び場を作りたい」や「餌や水の量を変えたい」など自分達にできることはないか考えるようになってきた。動物達の幸せにつながるように適宜計画を見直し、プロジェクトを進めている。

4年3組では、積極的に飼育動物と関わることから活動を始めた。その中で、動物の立場に立って活動することの大切さや魅力に気付くことができ、動物に対する捉えや接し方に少しずつ変化が見られるようになった。動物と深く関わることで、動物の命について考えることも増えてきた。そこで、動物に携わる方との出会いを通して、いろいろな人の動物の命に対する価値観に触れることで、命に対する子ども達の捉えを広げていく。



三輪 佳祐  
桐山 裕也  
窪田 泰三

4年1組

年間指導計画

「学びのカテゴリー」：動物（全105時間）

第4学年の目標	(1) 問題解決力に関わって		動物や人との関わりを通して出会った問いをもとに、自分や仲間、動物達が幸せに生きるために自分にできることを考え、やり切ることができるようにする。										
	(2) 関係構築力に関わって		動物との関わりや動物に携わる人との交流を通して、根拠を基に自分の考えを伝えたり、仲間の考えを肯定的に聞いたりしながら、ジレンマやエラーに対して互いに納得できる考えや最適解を生み出し、活動することができるようにする。										
	(3) 貢献する人間性に関わって		自分と他者、自分と動物との関わりから、命の尊さやこれからの自分の生き方を見つめ直し、自分らしく行動しようとする態度を養う。										
カテゴリー設定の理由	第3学年では、花の生命の美しさや尊さを実感してきた。そんな児童だからこそ、飼育動物に対する生命の重みと育てることへの責任を強く感じることができると考える。第4学年では、飼育活動を通して、「自分の願い」から「自他の願い」というように視野を広げることで見えてきた問題の解決を目指して、今まで以上に飼育動物と関わり、動物のために自分は何ができるかを試行錯誤し、対話をする中で、動物の幸せを考え、自分はどうすべきかを探究していく。												
学びの基盤となる道徳的諸価値	個性の伸長・希望と勇気、努力と強い意志・親切、思いやり・相互理解、寛容・勤労、公共の精神・よりよい学校生活、集団生活の充実・生命の尊さ・自然愛護												
学びを構成する要素	飼育 生命 達成感 幸せ 笑顔 病気 死 誕生 性格 個性 食物 体験 かわいい ペット ふれあい 環境 関わり方 安全 仲間												
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
単元名(時数)	動物の幸せを考えた飼育を目指して(35時間) ～動物について知る～					動物の幸せを考えた飼育を目指して(40時間) ～動物に自分ができること～					動物の幸せを考えた飼育を目指して(30時間) ～自分たちの成長に気付く～		
主な学習活動	○昨年度の4年生から引きついた飼育を、自分たちだけでできるようにするために、まずはやってみる。 ○動物たちの飼育を通して、3種類の動物たちと関わる。 ○飼育活動を経験して感じたことや、気になっていることを交流する。 ○自分たちの飼育について、5年生の人たちに見てもらい、アドバイスをもらう。 ○夏休みの飼育活動に向けて、大切にしたいことや方法など、学年で共通理解を図る。			添読飼 つし育 てく活 世観動 話察を をし継 たりし り動動 す物物 るのの 気様 持ち ちを にさ 寄ら りに	○岐阜農林高校の飼育動物と触れ合う活動を通して、動物達の魅力を改めて実感する。また、学校の飼育環境と農林高校の飼育環境を見比べて、自分達が学校の飼育動物にできることを考える。 ○動物と関わる人との交流を通して、プロジェクトを行う上で大切にしたいことを学ぶ。 ○よりよい飼育環境をつくるために、チームに分かれてプロジェクトを行う。					○飼育の引継ぎ会の計画を立てる。 ○引継ぎ会の実施と見届け活動を行う。 ○動物たちとの別れに向けて、動物たちのためにしてあげたいことを考え、実行する。 ○今年度の学びを振り返り、キャリアパスポートに記入する。 ○自分ができるようになったことについて振り返る。 ○飼育を通してどんな自分になれたのかを振り返る。			
想定される●ジレンマ■エラー【道徳的諸価値】	■丁寧にお世話をしようとするが、朝の飼育活動が時間までに終わらない。 ■調べた方法でやってみるが、飼育が上手くできているのか分からない。 ■飼育活動後、長靴が乱れていたり、白衣を干せていなかったりすることがあった。 ■得意・苦手があるから、役割分担した方がいいのではないかな。 ■苦手・嫌いはあるけれど、飼育活動をやりきらないといけない。 ●飼育小屋で生活することが、動物たちにとって本当に幸せなのか？ 【生命の尊さ・自然愛護・希望と勇気、努力と強い意志・親切・思いやりなど】				■動物達のことを大切だと思っているが、動物に触れるのが怖いので、上手に関われない。 ■動物達のために遊び場を作ったが、動物達が使っている様子がないなど、自分達が動物の様子を見て実践しようとしていることが、動物にとって幸せとは限らないことに気づく。 ●どの動物も大切だが、プロジェクトを進める上で、クラスごとに動物を絞ったほうがよいのか葛藤する。 【生命の尊さ・自然愛護・希望と勇気、努力と強い意志・相互理解、寛容など】					■飼育する動物について、様々な価値観をもつ全校児童生徒に対して、自分たちの思いや考えを伝えることができず、つまづく。(全校発信プロジェクト) ●3年生に楽しそうに達成感のある活動をメインに伝えていくべきか、苦しいことや大変なことも時間をかけて伝えていくべきか葛藤する。(引き継ぎプロジェクト) 【生命の尊さ・自然愛護・希望と勇気、努力と強い意志・よりよい学校生活、集団生活の充実・よりよく生きる喜びなど】			
人材活用施設	・獣医師 ・岐阜農林高等学校の生徒				・岐阜農林高等学校の生徒 ・アニマルセラピスト ・動物園					・岐阜農林高等学校の生徒			
教科等との関連	・国語：メモ(話す・聞く) お礼の手紙(書くこと) ・社会：すみよいくらしをつくる(水・ゴミ) ・算数：折れ線グラフと表 ・理科：生き物と気温(春・夏) ・特別活動(飼育活動)			・国語：パンフレットを読む(読むこと) わかったことをまとめる(書くこと) ・算数：およその数を調べよう ・理科：生き物と気温(秋)(冬) 動物の体とつくり ・図工：ひまつのすみか(立体)					・国語：新聞を書く(書くこと) ・理科：生き物の一年を振り返って ・図工：カードで伝える気持ち(工作) 忘れられない気持ち(絵画)				

4年1組 単元シート		本単元の目標		
		問題解決力	関係構築力	貢献する人間性
<b>単元名</b> 「動物たちの幸せを考えた飼育を目指して」 ～動物達に自分ができること～ (40)		動物との関わりを通して、自分や仲間、動物たちが幸せに生きるためのプロジェクトを計画し、自分にできることを考え、やり切ることができるようにする。	飼育動物のために行うプロジェクトを通して、仲間の考えを肯定的に聞いたり、根拠をもとに自分の考えを伝えたりしながら、ジレンマやエラーに対してお互いに納得できる考えを生み出し、活動することができるようにする。	自分や仲間、動物たちを幸せにする方法を考え、自分の長所を生かし仲間と共に行動しようとする態度を養う。
<b>活動の計画</b>	○夏休みの飼育活動について振り返り、今後の飼育活動の目標をたてる。 ○誰に、どんなことを聞きたいかまとめる。(5)	○岐阜農林高校に行き、動物との触れあい方を学んだり、動物たちの魅力について改めて実感したりする。また、活動後に動物のためにしたいことを改めて交流し、プロジェクトを立ち上げる。 ○動物と関わる仕事をしている方の講話を聞き、プロジェクトを行うときに大切にしたいことを学ぶ。(10)	○チームごとに、動物達のよりよい環境をつくるための計画を考え、実行する。 ○他クラスのプロジェクトを受け、扱う動物を1種類に絞るべきかどうか考え、クラスで決めたことを他のクラスに提案する。 ○交流の内容を踏まえて計画を再度練り直す。 ○他のチームの人に、自分たちが行っているプロジェクトについて説明し、本当にその方法が動物達のよりよい環境に繋がっていくのかどうかを話し合う。 ○練り直した計画について、専門の方から意見をいただき、プロジェクトを進める。(20)	○動物達のために進めてきたプロジェクトについて振り返り、成果と課題を明らかにする。 ○今回の学びを振り返る。(5)
<b>加筆修正欄</b>				
<b>想定される姿</b>	・夏休み期間、自分達の手で動物達の命をつなぐことができてよかった。 ・動物との関わり方で分からないことがあったので、岐阜農林高校の人たちに聞きたい。 ・動物のためにしたいことがたくさん出てきた。	・岐阜農林高校の人たちがどのような思いをもって動物のお世話をしているのかが分かった。 ・動物達と触れ合うことがとても幸せだと思えるようになった。自分達も動物が今より幸せと思えるようなプロジェクトを行いたい。 ・動物たちのストレスが少なくなるように遊び場を作りたい。	・動物達のためによりよい環境を作るために飼育小屋をよく観察しよう。 ・自分達が幸せだと思って取り組んだけれど動物にとってはどうだったのかな。動物の気持ちにもっと寄り添ったプロジェクトにしたい。 ・自分たちの計画について、専門の方の意見を聞いてみよう。	・動物達のために考えたプロジェクトを最後までやりきれてよかった。 ・自分達が考えた飼育環境で生き生きと活動している動物達の姿を見て、自分達も嬉しくなった。 ・これからも動物達が幸せに暮らせるようにしていきたい。
<b>実際の姿</b>				
<b>●ジレンマ ■エラー</b>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ■動物達のことを大切だと思っているが、動物に触れるのが怖いので、上手に関われない。  ■動物達のために遊び場を作ったが、動物達が使っている様子がなかった。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> ●他のクラスも飼育環境についてのプロジェクトを進めている。環境の大きな変化が動物にとってはストレスになっているのではないかと。どの動物も大切だが、クラスごとに動物を絞ったほうがよいのだろうか。 </div>			

4年1組 本時案

(1) 目標

動物達にとってよりよい環境をつくるために、クラスごとに動物を決めた方がよいのかを話し合う活動を通して、仲間に自分の考えを伝えたり、仲間の考えを踏まえたりしながら、自分達のプロジェクトを見直すことができる。(関係構築力)

(2) 道徳的価値判断に関わって

クラスごとに動物を決めた方がよいのかを考え、根拠をもとにして自分の考えを相手に伝えるとともに、自分と異なる意見も大切にしながら話し合いができる。(相互理解、寛容)

本時 (20/40)

活動内容 (○教師の発問 ・予想される児童生徒の発言)	教師の手立てと見届け
<p>1 前時にまとめた KPT シートをもとに、各チームのプロジェクトの問題点を共有する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・餌や水の量を考えるときも、他のクラスと揃える必要性を感じた。</li> <li>・自分達だけではなく、他のクラスでもプロジェクトを行っているので、環境が大きく変わり、動物のストレスになるかもしれない。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">クラスごとに動物を決めたほうがよいのだろうか。</p> </div> <p>2 クラスごとに動物を決め方がよいのか話し合う</p> <p>【動物をクラスごとに決めた方がよい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際にプロジェクトをやってみて、動物達のことをもっと知る必要があると感じた。残り期間を考えても、動物を1種類に絞った方が充実したプロジェクトになると思う。</li> <li>・1番は動物が幸せであるかどうかだと思ふ。それぞれのクラスで考えたことを実践していったら環境が大きく変わると思う。環境の大きな変化は、動物のストレスになると農林高校の人が言っていたので、1種類に絞った方がよいと思う。</li> </ul> <p>【動物をクラスごとに決めない方がよい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1人1人に得意な動物がいたり、苦手な動物もいたりすると思う。苦手な動物に決まったときに、その子のよさが発揮されないと思う。</li> <li>・ニワトリのために、遊び場を作ることはどうしてもやりたい。人によってやりたいことが違うので、クラスで決めてしまうとそれができなくなる。</li> <li>・自分はどの動物も好きで幸せになってほしいと思っているので、全ての動物でプロジェクトを行いたい。</li> </ul> <p>【どちらの立場にも共通していること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どの動物達に幸せになってほしいという思いはみんな同じだと思う。</li> </ul> <p>3 自分達のクラスの願いに立ち返り、クラスごとに動物を決めた方がよいのか決める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分達のクラスの願いは、「どの動物達も幸せな飼育環境をつくる」ことだから、動物の環境の変化によるストレスのことを考えると、クラスごとに動物を決めた方がよいと思う。</li> <li>・「どの動物達も幸せな飼育環境をつくる」ためには、1種類の動物のプロジェクトだけをやってはいけないうので、動物をクラスごとに決めない方がよいと思う。</li> </ul> <p>4 ワークシートに振り返りを書く</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分達のクラスの考えを他のクラスの子達にも納得してもらえるようにプレゼンを作りたい。</li> <li>・□□さんの意見を聞いていたら、動物の立場で考えることが大切なのだと思った。動物達がよりよい環境で生活できるようにこれから考えていきたい。</li> </ul>	<p>○前時にまとめた KPT シートを用いることで、プロジェクトの問題点を焦点化する。</p> <p>○お互いの意見に寄り添いながら話し合うために、本時のワークシートは、それぞれの立場のメリット、デメリットをまとめ、その上で自分の立場を明確にできるものを用いる。</p> <p>○根拠をもとにした話し合いをするために、どのような立場の意見であっても、実際のプロジェクトの様子や動物の様子に目を向けて考えることができるように適宜問い返す。</p> <p>○話し合いを通して、相手の意見に共感した所や自分の考えが変化、強化した所があれば、適宜ワークシートに赤鉛筆や矢印で書き込むことができるように声をかける。</p> <p>○どちらの立場にも共通していることを全体で確認することで、どの立場の児童も動物の幸せについて考えていることを確認する。共通する思いや自分達のクラスの願いに立ち返りながら、もう一度自分の考えを見直せるようにする。</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>目標に迫った姿をどのように見届けるか</b></p> <p>仲間との話し合いの中で自分の考えを伝えたり、仲間の考えを踏まえたりしながら、自分達のプロジェクトを見直している。(関係構築力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間との話し合いでの発言の内容やワークシートの記述から見届ける。</li> </ul> </div>

4年3組

年間指導計画

「学びのカテゴリー」：動物（全105時間）

第4学年の目標	(1) 問題解決力に関わって 動物や人との関わりを通して出会った問いをもとに、自分や仲間、動物達が幸せに生きるために自分にできることを考え、やり切ることができるようにする。															
	(2) 関係構築力に関わって 動物との関わりや動物に携わる人との交流を通して、根拠を基に自分の考えを伝えたり、仲間の考えを肯定的に聞いたりしながら、ジレンマやエラーに対して互いに納得できる考えや最適解を生み出し、活動することができるようにする。															
	(3) 貢献する人間性に関わって 自分と他者、自分と動物との関わりから、命の尊さやこれからの自分の生き方を見つめ直し、自分らしく行動しようとする態度を養う。															
カテゴリー設定の理由	第3学年では、花の生命の美しさや尊さを実感してきた。そんな児童だからこそ、飼育動物に対する生命の重みと育てることへの責任を強く感じることができると考える。第4学年では、飼育活動を通して、「自分の願い」から「自他の願い」というように視野を広げることで見えてきた問題の解決を目指して、今まで以上に飼育動物と関わり、動物のために自分は何ができるかを試行錯誤し、対話をする中で、動物の幸せを考え、自分はどうすべきかを探究していく。															
学びの基盤となる道徳的諸価値	個性の伸長・希望と勇気、努力と強い意志・親切、思いやり・相互理解、寛容・勤労、公共の精神・よりよい学校生活、集団生活の充実・生命の尊さ・自然愛護															
学びを構成する要素	飼育 生命 達成感 幸せ 笑顔 病気 死 誕生 性格 個性 食物 体験 かわいい ペット ふれあい 環境 関わり方 安全 仲間															
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
単元名(時数)	動物の幸せを考えた飼育を目指して(35時間) ～動物たちに自分ができること～					動物達の幸せを考えた飼育を目指して(40時間) ～動物と自分との関わりから、人と動物の共生を考える～				動物達の幸せと自分たちの幸せ(30時間) ～自分たちの成長に気付く～						
主な学習活動	○昨年度の4年生から引きついた飼育を自分たちだけでできるようにするために、仲間と関わり合いながら活動する。 ○飼育活動を通して、どの動物にも同じように関わることができるようにする。 ○飼育活動を通して感じたことや、気になったことを交流する。 ○書で対策を考える。 ○夏休みの飼育活動に向けて、各学級で大切にしてきたことや飼育活動に対する思いを交流し合い、これから大切にしたいことや方法など、学年で共通理解を図る。					添詳飼 つし育 てく活 世観動 話察を をし継 した続 たりし り動動 す物物 るのの 気様 持ち子 ちをに にさら 寄ら りに				○動物達との関わりの中で、さらに愛着をもったり魅力を感じたりする。 ○動物達の幸せや動物達の立場に立つことで、自分達にできることを考え実行する。 ○動物と携わる人達(獣医師、岐阜農林高等学校の生徒など)との出会いを通して、人と動物との関わりを様々な視点で見つめていく。 ○動物と携わる人達との出会いを通して、命の大切さについて考え、飼育動物のために自分達には何ができるかを考え、実行する。 ○動物と携わる人達との出会いを通して、命の大切さについて考え、これから自分はどうのように行動していくのかを明らかにしていく。						
想定される ●ジレンマ ■エラー 【道徳的諸価値】	■飼育活動を時間までに終わらせることができない。 ■調べた方法でやってみるが、上手く飼育できているのか分からない。 ■自分は何でもやっているのに○○さんはやりたいことしかやらない。 ●動物によって得意・不得意、好き・嫌いがあるから、役割分担した方がよいのではないか。 ●苦手、嫌いはあるけれど、飼育活動をやりきらないといけない。 ●飼育小屋で生活することが、動物達にとって本当に幸せなのか？ ●自分達が動物の様子を見て実践しようとしていることが、動物にとって本当に幸せなのか。 【生命の尊さ・自然愛護・希望と勇気、努力と強い意志・親切、思いやりなど】									■いろいろな遊び道具の提案があって、意見がまとまらない。 ●自分の思いと仲間の思いの違いから、自分の思いを優先したいけれど、仲間の思いも受け入れなければならないことに葛藤する。 ●動物に携わる人たちの考え方や関わり方は人それぞれなのでは分かったけれど、命を奪うことは本当に命を大切にしていると言えるのか。 【生命の尊さ・自然愛護・希望と勇気、努力と強い意志・思いやりなど】				■飼育動物について、様々な価値観をもつ全校児童生徒に対して、自分たちの思いや考えを伝えることができず、つまづく。 ●3年生に楽しく達成感のある活動をメインに伝えていくべきか、苦しいことや大変なことも時間をかけて伝えていくべきか葛藤する。(引き継ぎプロジェクト) 【生命の尊さ・自然愛護・希望と勇気、努力と強い意志・よりよい学校生活、集団生活の充実など】		
人材活用施設	・獣医師 ・岐阜農林高等学校									・獣医師 ・保健所の職員 ・動物園の飼育員 ・岐阜農林高等学校の生徒 ・自然保護官 ・ペットショップの職員				・ここまでに出会った方々		
教科等との関連	・国語：メモ(話す・聞く) お礼の手紙(書くこと) ・社会：すみよいくらしをつくる(水・ゴミ) ・算数：折れ線グラフと表 ・理科：生き物と気温(春・夏) ・特別活動(飼育活動)					・国語：パンフレットを読む(読むこと) わかったことをまとめる(書くこと) ・算数：およその数を調べよう ・理科：生き物と気温(秋)(冬) 動物の体とつくり ・図工：ひみつのすみか(立体)				・国語：新聞を書く(書くこと) ・理科：生き物の一年を振り返って ・図工：カードで伝える気持ち(工作) 忘れられない気持ち(絵画)						

4年3組 単元シート		本単元の目標		
		問題解決力	関係構築力	貢献する人間性
<b>単元名</b> 動物達の幸せを考えた 飼育を目指して ～動物と自分との関りから、 人と動物の共生を考える～ (40)		動物に携わる人達と出会い「命を大切にする」という考え方や動物との関わり方は人それぞれであることに気づき、飼育動物たちのために自分にできることは何かを考え、最後までやり切ることができるようにする。	動物に携わる人達の考えや仲間の意見を聞く中で生まれたジレンマに対し、これまでの自分の考えを見つめ直し、仲間の意見を受け止めながら互いに納得のできる解を導き出し、活動に向かうことができるようにする。	自分のよさを生かしながら、動物達のために、自分ができるとは何かを見付けて、行動しようとする態度を養う。
<b>活動の計画</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○夏休みの飼育活動について振り返り、動物達の様子や仲間の頑張りを交流する。</li> <li>○夏休み前までの活動を想起するためにこれまでの歩みを振り返る。</li> <li>○獣医師と動物との関わりを知り、気付いたことをまとめる。</li> <li>○獣医師の話聞いて、飼育動物達の幸せのために自分は何ができるのかを考える。</li> <li>○飼育活動を行う。 (5)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自然保護官、岐阜市保健所の職員など、動物に携わる人達と動物との関わりを知り、気付いたことをまとめる。</li> <li>○動物に携わる人の話を聞いて、自分と動物の関わりについて考える。 (10)</li> <li>○飼育活動を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○動物に携わる人達の話を聞いて、飼育動物達の幸せのために自分には何ができるのかを考える。</li> <li>○動物に携わる人達の話を聞いて、命に対する考え方や自分の生き方について見つめ直す。 (15)</li> <li>○飼育活動を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○動物達のためにできることを考え、実行するためのプロジェクトを立て、計画する。</li> <li>○今回の学びを振り返る。</li> <li>○飼育活動を行う。 (10)</li> </ul>
<b>加筆修正欄</b>				
<b>想定される姿</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みの飼育で○○さんのこういうところがすごいと思いました。だから、私にも取り入れていきたいです。</li> <li>・獣医師の話から、動物の命を繋いでいくために一生懸命動物と関わっていることがわかりました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然保護官の人は、自然を守るために、やむを得ず狩りをしていることがわかりました。</li> <li>・保健所の人は、殺処分がないようにいろいろな努力をしていることがわかりました。</li> <li>・動物に携わる人達の話を聞いて「命を大切にする」という思いは同じだけれど、関わり方がそれぞれ違うことに気付きました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動物に携わる人達の話を聞いて、何をすることが命を大切にすることに繋がるのかを考え、実行したいです。</li> <li>・飼育動物達の幸せを考えたときに、自分達には何ができるのかを考え、実行する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動物に携わる人達の話を聞く前と今では動物に対する考えが少し変わってきたように思います。</li> <li>・動物達の命に支えられている自分の命を大切にするために、これからは～を頑張っていきたい。</li> </ul>
<b>実際の姿</b>				
<b>■ ● エラー ジレンマ</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●動物に携わる人たちの考え方や関わり方は人それぞれなのは分かったけれど、命を奪うことは本当に命を大切にしていると言えるのか。</li> <li>●自分の思いと仲間の思いの違いから、自分の思いを優先したいけれど、仲間の思いも受け入れなければならないことに葛藤する。</li> </ul>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■いろいろな遊び道具の提案があつて、意見がまとまらない。</li> </ul>			

#### 4年3組 本時案

##### (1) 目標

動物に携わる人達の考え方や関わり方について交流する活動を通して、動物に携わる人達の思いや自分達の探究の歩みを基に、自分達にできることを考え、行動しようとする事ができる。(貢献する人間性)

##### (2) 道徳的価値判断に関わって

動物たちの命に支えられている自分の命の大切さについて考え、これからの自分の行動について議論する。(生命の尊さ)

本時 (28/40)

活動内容 (○教師の発問 ・ 予想される児童生徒の発言)	○教師の手立てと見届け
<p><b>1 これまでの歩み確かめる</b> ○動物と携わる人たちの話を聞いて、あなたは「命の大切さ」についてどう感じましたか。 ・命を大切にするという思いは同じだけれど、自然保護官の人の話を聞いて、命のことを考えているからこそ命を全ていただくという考え方があって、捉え方は人それぞれであることがわかりました。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"><p>動物たちのために、自分ができるとは何だろうか。</p></div> <p><b>2 命についての捉えを確認する</b> ○動物に関わるたくさんの人達の話をお聞きしましたが、みなさんが考える命はどんなものですか。 ・命は一つしかないから、大事にしていかなければいけないと思います。 ・保健所や猪鹿庁の人達も言っていたけれど、目の前の動物達と向き合うことが大切だと思います。</p> <p><b>3 動物に関わる人達の話聞いて、自分にできることを考え交流する</b> ○動物に関わる人達の話聞いて、自分達にはどんなことができますか。 ・猪鹿庁の人の話を聞いて、給食を残さず食べることが命を大事にすることだと思いました。 ・保健所の人から殺処分の話聞いて、目の前の動物達を大切にしようと思いました。また、ポスターを作って、地域の人達に見てもらいたいです。 ・獣医師の人が命の大切さについて私達に話をしてくれたように、私達もかぞくに命の大切さについて話をしていきたいです。</p> <p><b>4 本時、交流したことを基に、飼育動物達のためにできることを考える</b> ○飼育動物達のために自分達は、何を考え、どんなことができますか。 ・目の前の動物達のために、決められた当番の時間だけではなく、時間を見つけて動物達の様子を見に行きたいと思えます。また、今まで以上に動物達の幸せを考えて世話をしていきたいです。 ・動物達をよく見て、動物達の健康状態を毎日確かめていきたい。 ・命の大切さについて、飼育動物を通してたくさんの人に伝えたい。</p>	<p>○これまでの活動や対話によって生まれたジレンマを共有し、切実感をもって意見交換を行えるように展開に合わせて問いかける。</p> <p>○児童自身で活動を考えていけるように、それぞれの団体が行っている命を大切にするための活動について提示する。</p> <p>○命について考えたことを実生活と繋げて考えられるようにするために、実生活では動物の命とどんな関わり方があるのかを問う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p><b>目標に迫った姿をどのように見届けるか</b> 動物に携わる人たちの考え方や関わり方を基に、命に対する考えを自分なりに捉え、これからこうしていきたいという思いをもっている。(貢献する人間性) ・ワークシートの記述や発言から見届ける。</p></div>